

しあわせ

2 月 号



いらいら

一々ののはなのなかよりは

さんじゅうろつびやくせんおく

三十六百千億の

こうみよう

光明てらしてほがらかに

いたらぬところはさらになし

『浄土和讃』四二

浄土に咲く一々の蓮華の中からは、三百六十億の光が明らかに世界を照らし、至り届かないところはどこにもない。

(意訳)

「手を合わす母」

めでたさも 中くらいなり おらが春

一茶ではないが、例年のような気持ちでお正月を迎えられなかった新春も早、二月。

「一月はいぬる。二月は逃げる。三月は去る」昔から広島弁で言ってきたが、元旦に続いて御正忌報恩講をお勤めしたかと思うと早や、節分。

浄土真宗では、二月はダーナ募金を行う月である。二月七日の本願寺二十一代明如上人の次女

で関東大震災の被災者支援に奔走された九条武子夫人の命日を記念して佛教婦人会が行っている。

旦那という言葉は、ダーナ(施し)を語源とし、ダーナする人、ダーナできる人のことを言う。

新型コロナに孤立化を突きつけられ、あらためて人のやさしさや触れ合いの有難さ、大切さを知らされた。

つながらりの中でこそ人は生きて往けるというお釈迦様のみ教えにあらためて気づかされた。

法座案内

法味の会

二月十九日 午前十時
お話 自坊住職

※新型コロナの影響により急遽中止となった場合は、掲示板にてお知らせいたします。

※本堂内は常時換気しておりますが、参拝の際は、検温・マスク着用をお願い致します。

広島聞薫会

中止

府中町山田二丁目一五十三
栢原山 龍仙寺

電話(〇八二二八)一四八二



【浄土和讃（四二）】蓮の光に照らされて、
 「浄土の蓮華には、一々の華に百千億の花びらがあり、花びらには青・白・黒・黄・赤・紫の六色がある。それら一々の華の中から三十六百千億の光が放たれており、朗らかに輝くその一々の光の中からは、無数の仏がたが出現し、あまねくすべての世界を照らし、人々を仏道に導いておられる。」

『無量寿経』上巻の結びの言葉です。今回
 の一首はこのお経文にもとづいて作られており、浄土の蓮華から放たれた三十六百千億の光がすべての世界を照らしていると讃えられています。三十六百千億とは、浄土の蓮華には百千億の花びらがあり、その花びらには六色があり、それらが耀きあつて、一つの色に他の色すべてが映っているため、六六三十六の百千億の光となつていているといふのです。これは一即一切・一切即一という悟りの世界を表していると言われます。

一即一切…、それは仏さまが智慧の眼で見通されている世界のありさまであり、すべてのものが網目のように関わりあい、ひとひらの花びらにも全世界がおさまっているような世界だといわれます。まったく思いはかれませんが、生活のなかの出来事から、ほんのわずかでも想像してみましよう。

たとえば、今年の冬はきびしい寒波となつており、冷え性のわたしには灯油ストーブの温もりが欠かせませんが、よく考えると、いま私の両手をあたためてくれているこの温もりにも、はてしない歴史がこもっているのではないのでしょうか。

そもそも石油とは、大昔の生物の死骸からできていると言われます。大昔の海のなかでプランクトンなどの死骸が大量に海の底に積りつづけ、それらが何百万年から何億年というとても長い時をかけて地熱によつて分解され、石油となつているそうです。しかも地

層が凸状になつている特定の環境でしか油田はできないらしく、わたしの手を温めてくれている灯油も日本産ではありえません。そう考えると、ボツと火がついて「あー温かい」と喜んでいるこの一瞬にも、何億年の歴史がこもっているのでしょうか。

すべては網目のように関わりあつており、一瞬が永遠であり、ひとひらの花びらにも全世界がおさまっている。そのように世界を見通されている方を仏さまと言い、仏さまが見通されている世界を浄土といっています。それは私たちの煩惱の眼ではけつして見えない世界でしょう。しかしその浄土の蓮華から放たれた三十六百千億の光は、すべての世界にいたり、人々を照らし導いてくださっていると親鸞さまはご和讃されました。その光とは、お経の言葉でした。私たちがお釈迦さまの教えを仰いでいる、その姿こそが、浄土の蓮華の光に照らされている姿だったのですね。

今年のお正月、幼稚園の園庭がうっすら雪で覆われました。積つたというほどではありませんが、わずかな雪をかきあつめて雪だるまをつくりました。雪がうすいので枯れた芝がまじっていましたが、幼い娘たちはたいそう喜びようです。次の日、様子を見にいくと、雪がとけて芝だけ残り、雪だるまはひと回り小さい茶色のだるまになっていました。「あ、雪だるまが芝だるまになつてる！」と大笑いしたことです。お正月が明けると、雪はとけて、幼稚園には元気いっぱいの子供たちの笑顔が戻ってきました。

雪とけて村いっぱいの子どもかな（一茶）

冷たい雪のかたまりも、お日さまの光に照らされれば解かされていきます。ともに仏さまの仰せをお聴聞いたしましょう。わたしの悲しみを解かしてくださるぬくもりが、浄土の蓮華の光が、届いてくださっています。